

現地農業情報（沖永良部島・与論島）令和4年5月

（1）新規飼料作物有望品種トランスバーラの実証ほ設置

大島郡での新たな飼料作物として期待の高い「トランスバーラ」を、和泊町の実験農場、与論町の農家借上ほ場で栽培し、実証を行っています。

この飼料作物は、栄養繁殖であるため初期生育がポイントとなることから、播き苗区、セルトレイ苗等を植えた区、株を移植した区、ローズグラスとの混植区を設け、その差を確認・調査する予定です。

近年、家畜飼料費の高騰が問題となっており、畜産農家自ら飼料を生産し、自給することが重要です。

農業普及課は、今後ほ場を使った現場研修を開催し、「トランスバーラ」の紹介や導入推進を図っていきます。



実証ほ設置（播き苗区）



育苗（セルトレイ苗）

（2）与論町農作業受託調整組織設立委員会の開催（R4.5.12）

5月12日、与論町のさとうきび作業受託者代表を含む14人が参加し、農作業受託調整組織設立委員会が開催されました。

会では、町担当者から目標とする組織体制や計画についての説明があり、徳之島の事例を参考に受託調整組織の設立を進めることとなりました。

3年間の実証事業を活用し、本年度はさとうきび夏植えの作業に限定した実証を行い、問題点等を整理・検討する計画です。

農業普及課は、今後も組織設立と運営支援を行って参ります。

